

2022年度 第2回8月九大本番レベル模試地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

2 論述問題

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。

② 下線の付け忘れは1点減点。

③ 指定用語不使用は1点減点。

④ 字数オーバーは1点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。
- 5) [指定語句] は、解答文中のどこかで使用していれば減点しない。

[1]

問2 22点

[指定語句] 火山活動 光合成 溶脱 (下線不要)

※指定語句不足は1語につき-1点

鉄鉱石は、先カンブリア時代に微生物が光合成で生んだ酸素と結びついて海底に沈殿した酸化鉄が鉱床を作ったため、安定陸塊、特に楯状地の広がるオーストラリアやブラジルなどに分布する。銅鉱はマグマの作用で鉱床が形成されるため、火山活動の盛んな変動帯である環太平洋地域のチリ、ペルーなどに多いが、他にコンゴ民主共和国からザンビアにかけてのカッパーベルトにも分布する。ボーキサイトは、降雨による他の成分の溶脱で土壌のアルミニウム分の含有率が高まって生成するため、オーストラリアやギニアなどの熱帯地域に分布する。

【加点ポイント】

i) 鉄鉱石について (8点)

① (鉱床について)

- ・先カンブリア時代 →2点
- ・微生物が光合成で生んだ酸素と結びついて海底に沈殿した酸化鉄
／バクテリアが光合成で生んだ酸素と海中の鉄イオンが酸化鉄となり堆積 →2点

② (分布の特徴) 安定陸塊／楯状地 →2点

③ (主な生産国) オーストラリア／ブラジル →2点

ii) 銅鉱について (6点)

① (鉱床について) マグマの作用で形成／マグマが固まる過程で形成 →2点

② (分布の特徴) 火山活動の盛んな地域／変動帯 →2点

③ (主な生産国) チリ／ペルー／コンゴ民主共和国／ザンビア →2点

(次ページに続く)

iii) ボーキサイトについて (8点)

① (鉱床について)

- ・アルミニウム分を含む土壌/ラトソル →2点
- ・降雨により溶脱されて形成 →2点

② (分布の特徴) 熱帯 →2点

③ (主な生産国) オーストラリア/ギニア/ジャマイカ →2点

問3 16点

自動車産業では、気候変動対策のための二酸化炭素排出量の規制強化や資源保全目的に対応して、自動車の電動化や燃費改善が急務となっている。そのため、走行可能距離延長や燃費改善、衝突安全性の向上などを図った車体の軽量化が求められ、以前は高級車やスポーツカーに限られていたアルミニウムの利用分野が拡大している。

【加点ポイント】

i) 自動車におけるアルミニウム利用の利点について (10点)

① (アルミニウム利用の主目的) 車体の軽量化 →4点

② (①の利点) ・燃費改善/走行可能距離の延長 →2点

- ・電動化(電気自動車)への対応/重いバッテリー搭載への対応 →2点

③ (その他の利点) 重量当たりの強度が高い/衝突安全性の向上

- /運転性能の改善/加工性が高い/リサイクル性が高い →2点

ii) 利用の目的・背景について (6点)

① ・二酸化炭素排出量の削減/二酸化炭素排出量の規制強化

- ・気候変動対策/地球温暖化対策

- ・資源保全/原油(ガソリン)の使用量削減

1つ3点

6点まで

[2]

問2 12点

内陸は砂漠が広がり、沿岸の都市に人口が集中するため、都市人口率が高い。また、石油輸出で蓄積した資本による高層ビル・空港・港湾などの都市建設やリゾート開発が盛んで、インド、フィリピン等から建設労働者が多数移住したため、国教のイスラムの他にヒンドゥー教徒やキリスト教徒も多く、成人男性の割合が極端に高い。

【加点ポイント】

★問1で「A:アラブ首長国連邦」を正解していることが加点の前提

i) 都市人口率について (2点)

① 都市人口率が高い →1点

② (①の理由) 内陸に砂漠が広がる/国土の大半が砂漠である →1点

(次ページに続く)

ii) 宗教について (6点)

- ① イスラームが多い →1点
- ② (①の理由) 国教である／アラブ人の大半はイスラム教徒(ムスリム)である →1点
- ③ ヒンドゥー教徒が多い →1点
- ④ (③の理由) インドからの移住者が多い →1点
- ⑤ キリスト教徒が多い →1点
- ⑥ (⑤の理由) フィリピンなどからの移住者が多い →1点

iii) 人口構成の特徴について (4点)

- ① (特徴) 成人男性の割合が極端に高い／男性の生産年齢人口が多い →1点
- ② (①の理由) 建設労働者が多数移住した →1点
- ③ (②の使用先) 都市建設／リゾート開発／高層ビルなど建設 →1点
- ④ (③の背景) 石油輸出で蓄積した資本／オイルマネー →1点

問3 12点

【指定語句】 インド洋交易 植民地 バントゥー諸語 複数の民族

(下線不要) ※指定語句不足は1語につき-1点

かつてアフリカ東部ではインド洋交易が盛んで、アラブ人商人が多く訪れたため、在来のバントゥー諸語にアラビア語の影響が加わったスワヒリ語が広く使用され、またイスラーム信仰が伝わった。後にイギリス植民地になると英語も使用されるようになり、いずれも言語の異なる複数の民族が意思疎通を図るための公用語となった。

【加点ポイント】

i) スワヒリ語について (8点)

- ① (歴史的背景) インド洋交易が盛んだった →2点
- ② (①の影響) アラブ人との交流／アラビア文化の流入 →2点
- ③ (②の影響) バントゥー諸語にアラビア語の影響が加わってスワヒリ語が成立 →2点
- ④ (②の影響) イスラーム信仰(イスラム教)が広まった →2点

ii) 英語について (2点)

- ① (歴史的背景) イギリスの植民地になった／宗主国の言語が英語であった →2点

iii) 二つの言語使用の社会的背景について (2点)

- ① 言語の異なる複数の民族の意思疎通を図る
／複数の民族が国内に存在し特定の言語を公用語にすると争いが起こる →2点

問4 16点

【指定語句】

格差 隔離 就業 ヒンドゥー教

(下線不要) ※指定語句不足は1語につき-1点

インド社会には、ヒンドゥー教に基づく身分制度カースト制が古代から続く。カースト差別は憲法で禁止されたが、今も就業や婚姻などに影響する。しかし、下位カースト優遇策や新しい産業の発展でカーストの意義は低下した。南アフリカ共和国では第二次世界大戦後に白人優遇と非白人の隔離・差別を柱とする人種隔離政策であるアパルトヘイトが行われた。20世紀末にこの政策は廃止されたが、経済的・社会的な格差は解消していない。

【加点ポイント】

i) インドについて (9点)

- ① (差別の経緯) カースト制が古代から続く →2点
- ② (①は) ヒンドゥー教に基づく →1点
- ③ (①は) 身分制度である/職業により格差がある
/世襲制で就業の自由がなく身分が固定 →2点
- ④ (現在の状況) カーストの意義は低下した
/今も就業や婚姻などに影響する
/差別 (格差) は薄らいだ (が今も残存する) →2点
- ⑤ (④の背景) カースト差別は憲法で禁止された/下位カースト優遇策が採られた
/ (従来のカーストにない) 新しい産業が発展した →2点

ii) 南アフリカ共和国について (7点)

- ① (差別の経緯) 人種隔離政策/アパルトヘイト が行われた →2点
- ② (①の内容) 白人優遇/非白人の隔離・差別 →2点
- ③ (現在の状況) ①は廃止された →1点
- ④ (現在の状況) 格差は解消していない/差別 (格差) は強く残る →2点